

## シルバー世代でも力になれると信じて



シルバー会員 古家 裕美さん(72)

40代半ばで保育士の資格を取得し、堺市の非常勤職員や、また地域の子育て支援事業にも参加していました。孫の世話をするため12年前に守口市へ引っ越してきたのですが、その孫が成長し、時間的余裕ができたこともあり、自宅近くのシルバー人材センターへ何かできるかなと、入会説明会を受け、会員となりました。当時、センターには子育て支援ボランティア班があり、そこで働くことになり、昨年センターから市内の認定こども園で有資格者の募集があるという話をいただき、幼稚園の面接を受けたのが三郷幼稚園での勤務の始まりでした。

幼稚園で働くことにより、先生や保護者、地域の人も、より安心感が生まれたと言ってくれます。子どもたちにも、じかに接する先生のフォロー、園の仕事で少しでも役立つことを考え、行動しています。私自身、ここで働くことにより、職員や保護者の皆さん、そして何より子どもたちから元気をたくさんもらっています。



## 認定こども園の大きな力

当園が認定こども園に移行したのは昨年4月、職員は全員有資格者で運営しています。保護者にとっては、こども園に対して安全・安心への取り組みが一番関心のあるところです。当園の幼児部は88年の歴史とノウハウがありますが、乳児を持つのは初めてのことでしたので、最初は保護者にも不安があったと思います。その時にシルバー人材センターからの紹介で古家さんを面接し、すぐに雇用を決めました。古家さんに決めたことについては、2つの大きな意味がありました。

古家さんが有資格者であり、長年の子育て、保育の経験から若い先生が古家さんの持つ知識を吸収できること。

そして、幅広い経験を持っていることで、元気で活発な若い先生と、中堅やベテランとして園の中心的役割を担



う先生とのバランスをうまく取れることです。

こども園としての配置基準は満たしているのですが、いろいろな部分で多くのフォローを必要とします。シルバー人材センターに、保育士の人材を求める中で有資格者をお願いしたところ、うまくお互いの思いが重なりましたね。

勤務の時間にしても、早朝や薄暮での働き手に関して、シルバー世代のニーズは、保育業界でさらに高まっていくと考えています。年長者の知識やアドバイスは貴重なものですし、言葉の重みや安堵感は若い先生のものとはまた異なります。特に古家さんの気付きの部分がすばらしく、先々を見通す力にとっても助かっています。こども園として、これからもシルバー世代の経験と知恵は必要だと思えますね。



三郷幼稚園長 津嶋恭太さん

## 自分の技術・技能を後進のために



シルバー会員 片山 豊さん(72)

まだ若く現役だったころ、私は会社で品質管理を担当しており、国際品質保証規格ISO9000の審査合格継続の指導を担当していました。

退職後、数年が経ったある日、自宅の隣に住んでいるシルバー人材センターに就業開拓担当・青木さんが、昔、同じ会社に勤務していたこともあり「市内の会社でISO9001および14001の品質管理の技術者を探しています。片山さんの技術力を思い出し、紹介したいのですがどうでしょう」と相談を受けました。

職務の内容や技能には自信がありましたので、会員に登録し、面接を受けることにしました。会社側からはぜひ品質管理業務をお願いしたいと採用が決まり、今年で3年目を迎えます。

私としては、会社の求める品質を確かなものとし、今まで培ってきた技術や技能を後進に伝えるため、研修なども任せていただいています。シルバー世代であっても、長年の経験から技能には自信があります。そして、会社が私に求めるものを全力で答え、それが私の役目であり、会社の発展のために何ができるかを考えています。



## 会社が求める以上の人材

3年前、シルバー人材センターに片山さんを紹介していただき、面接を行いました。すると、片山さんは企業が何を求めるかを全て分かっておられて、私どもが望んでいた人だなとすぐに採用を決めました。思ったとおり、仕事では本当に助かっています。

当社としては、人材の確保はシルバー人材センターでも、派遣会社でも支障ないのですが、技術や技能を調査されて紹介いただき、評価に大きな相違がないシルバー人材センターからの人材は安心感があります。

企業の形態や要望に合わせて応用が効くので片山さんには感謝しています。当社として、健康でいる限りは、頑張ってもらいたいですね。



山岡金属工業株式会社  
製造部技術課マネージャー・岡部清さん(右)  
総務人事課リーダー・山下東治さん(左)



梱包ラインでもシルバー会員が活躍中

